



世界に希望を生み出そう

ロータリー財団月間にちなんで

ロータリー財団管理委員 三木明

1917年、当時のロータリー会長アーチ・克蘭フの「世界でよいことをしよう」との合言葉のもと、26ドル50セントの寄付に始まったロータリー財団は、多くの人々の人生を変える財団へと発展しました。

ロータリーの最大の目標であるポリオ根絶がもう目の前にやってきました。

野生型ポリオウイルスによる発症は、減少しています。加えて、効果が高い新型経口ポリオワクチン2型(nOPV2)の投与が始まっています。発症は、アフガニスタン、パキスタンの限られた地域になってきました。ポリオ根絶まで、もう少しです。



また、ロータリーは、平和は「人」から始まると考えます。ロータリーは、平和フェロシティを通じて、世界平和と開発の担い手となる人材を育て、平和推進者の世界的ネットワークを築いています。

私たちの目標は、2025年までに恒久基金を20億2,500万ドルにすることです。この基金へのご寄付は、私たちがこの世を去った後にも、変化をもたらすことができます。

今後50年、100年、200年後にも財団が変化をもたらしていく力を維持できるようにしなければなりません。

先日、慈善団体の格付け評価を行うアメリカの独立機関チャリティナビゲーターが、ロータリー財団に15年連続で最高の4つ星評価を与えました。この優れた評価は、ロータリー財団がほかの団体と一線を画し、一般の人たちにもその信頼性を証明することになります。ロータリー財団は、ロータリー会員による地域社会での活動や世界をより良い場所とするための活動をサポートし続けます。世界が私たちを必要とする限り、私たちは行動します。皆様のさらなるご理解とご支援をお願い申し上げます。

【ロータリー財団がチャリティナビゲーターから15年連続で最高評価を受ける】

ロータリー財団は、15年連続で、米国の慈善団体の格付けを行っている独立団体「[チャリティナビゲーター](#)」より、最高の四つ星評価を獲得しました。

財団は、慈善部門におけるベストプラクティスを遵守し、財務的に効率のよい方法で使命を遂行し、財務の健全性および説明責任と透明性へのコミットメントを示したことが評価されました。続きは[こちら](#)

[My ROTARY RIレポート](#) [寄付送金明細書](#) [寄付・認証の手引き](#)

寄付総額	世界上位5ヶ国
	2023年10月23日現在
アメリカ	\$ 22,853,692
韓国	\$ 7,873,897
インド	\$ 4,445,750
日本	\$ 4,400,031
台湾	\$ 2,599,746

2023-24年度 目標(世界)

- ・年次基金:1億5,000万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億4,000万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:6,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):5億ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- ・年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成 EREY(年次基金への寄付)の推進
- ・ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+30名目標)
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェロシティの推進

日本の状況

冠名基金数 258
AKS会員数 64
PHS会員数 1396

お知らせ

【グローバルなアプローチでメンタルヘルスに取り組む】

ロータリークラブと地区の支援を受け、新しい学問分野の発展に取り組む奨学生をご紹介します。

世界がつながるにつれ、専門家たちは社会問題をグローバルに捉えるようになっていきます。それは心に関しても同様です。グローバル・メンタルヘルスという新たな学問分野では、各国でどのように心理的問題が診断され、治療が行われているのかを探求しています。

最近、ロータリークラブと地区は、キングス・カレッジ・ロンドンとロンドン大学衛生熱帯医学大学院でグローバル・メンタルヘルスを学ぶ4名の学生を支援しました。これらの学生は、心の健康に影響を与える社会的傾向、文化的慣習、政治的・経済的背景について研究を行っています。

記事の続きは[こちら](#)

【私たちはファミリー：ロータリー青少年交換】

レジーナ・アレシさんは旅をするのが大好きです。同級生から[ロータリー青少年交換](#)について聞いた時、自分も参加したいと思いました。アレシさんは、青少年交換で、1月に故郷であるサン・ニコラス・デ・ロス・アヨヨスからブラジルに向け出発しました。ブラジルの文化を学び、リーダーとして成長するためです。「交換での経験によって自立心を培うことができ、新しいことや慣れない状況に適応する順応性を身に付けることができました」とアレシさんは話します。記事の続きは[こちら](#)

【世界中で活躍する「世界を変える行動人」】

世界のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

寄付・認証

【恒久基金に関する新たなリソース】

「[恒久基金を成長させるための地区の手引き](#)」に、以下のリソースが追加されました。11月の「財団月間」が目前となり、恒久基金への理解を深めるために、是非ご活用ください。

【新たに加わった資料】

- [恒久基金に関する動画](#): ニュースレター、イベント／行事、ソーシャルメディアなどで使用できる、恒久基金の概要と重要性、寄付の方法などを説明した動画
- [新しい画像](#): 恒久基金(シェア)への寄付が地元での活動にどう生かされるかを説明した画像
- [遺贈寄付に関する資料](#): 地区のニュースレターや個人のフェイスブックページに掲載できる資料
- [Rotary's Promiseクラブのガイド](#): 「Rotary's Promiseクラブ」とは、ロータリー財団の恒久基金に全会員が寄付したクラブを表彰するものです。

地区内で恒久基金への寄付を推進するためのアドバイスが必要な際は、各地域の恒久基金／大口寄付アドバイザー(EMGA)にご連絡ください。

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[ロータリーのYouTube](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「[各種レポート](#)」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C、クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

- [「パキスタン洪水救援基金」と「ウクライナ救援基金」について](#)
- [「モロッコ地震救援基金」について](#)

【ポリオプラス・ソサエティ(PPS)の推進アイデア】

第3地域ポリオ根絶コーディネーター(EPNC) 前田直俊

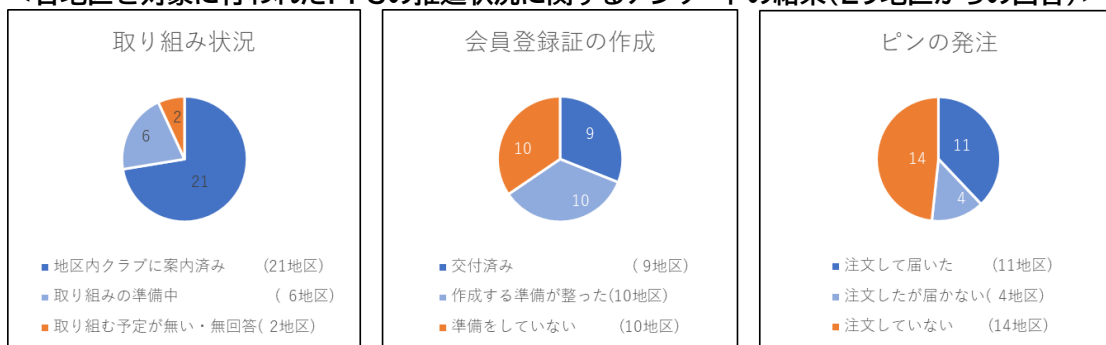
PPSの推進が日本で始まったのは昨年度末からです。各地区100名入会の目標をお願いしておりますが、私たちロータリアンやローターアクトが草の根的な運動で会員数を増やしていくためには、各地区のガバナーや財団委員長、ポリオプラス委員長などによる積極的な推進が不可欠です。ポリオ根絶に向けて、より多くの皆さまに参加していただくために、次の項目がお役に立てば幸いです。



1. 教育と意識啓発：ポリオの根絶プロジェクトの重要性や影響について、寄付者に知ってもらい意識を高めることが大切です。ウェブサイト、ソーシャルメディア、ニュースレターなどを通じて情報を提供しましょう。
2. ストーリーテリング：ポリオ根絶の成功ストーリーや実際のケースを通じて、感動的なストーリーテリングを行い、人々の共感を引き出しましょう。
3. 定期寄付プログラム：寄付者に、毎月や毎年の自動引き落としによる寄付を設定するオプションを提供しましょう。これにより寄付者は継続的にPPSを支援できます。
4. PPS会員に感謝：寄付者に感謝の意を示すことは非常に重要です。手紙、電子メール、個別のメッセージまたは特別なイベントを通じて感謝の意を表明しましょう。
5. クリアな情報提供：PPS会員に対して寄付がどのように使われどのような影響を与えるのかについて透明で具体的な情報を提供しましょう。
6. コミュニティを構築：PPS会員同士がコミュニティを形成し、情報や経験を共有できるプラットフォームを提供しましょう。
7. イベントとキャンペーン：定期的な募金イベントやキャンペーンを通じて寄付者を新たに獲得し、既存のPPS会員を活性化させましょう。
8. パートナーシップ：他の組織や機関と連携して、一緒に寄付者に働きかけることができます。

ぜひ前向きに進めていただけることを願っております。これらのアプローチを組み合わせると、ポリオ根絶へのPPS会員を増やすことができます。重要なのは、寄付者が自分の寄付が本当に助けになることを理解し、自身の貢献が意味あるものであると感じることです。

<各地区を対象に行われたPPSの推進状況に関するアンケートの結果(29地区からの回答)>



このプログラムについての問い合わせは各地域のポリオ根絶コーディネーター(EPNC)までお願いいたします。

第1地域EPNC 高柳育行(本庄RC)
 第2地域EPNC 伊藤雅基(駒ヶ根RC)
 第3地域EPNC 前田直俊(坂出東RC)

incho@takayanagi-dc.com
ma-ito@itodenko.co.jp
unagiinu@maedaseikei.net

【2022-23年度クラブバナー認証／感謝状】

10月に各地区に向けて2022-23年度クラブのバナー認証及び End Polio Now 感謝状を発送いたしました。

ロータリー財団へ多大な貢献をくださったクラブに対し、各地区の地区大会や特別な行事にて、贈呈の機会をぜひ設けていただけますようお願いいたします。

ご支援・ご協力に心より御礼申し上げます。

ポリオプラス

【アフガニスタンでポリオを根絶する機会】

寄稿者：サバヌ・ウリシュミンさん（一般社団法人リ
エゾン シニア・アドバイザー、元アフガニスタン大統領府
ポリオ根絶フォーカルポイント疫学者）



日本でポリオ根絶に携わるアフガニスタン人疫学者が現地のポリオ事情を説明

アフガニスタンは、ポリオ根絶が世界で最も困難な国と考えられています。その主な理由は、同国政府と当時のソ連の同盟国であるムジャヒディーンとの間の戦争、ムジャヒディーンとタリバンとの間の交戦、タリバンとアフガニスタン政府および北大西洋条約機構 (NATO) の同盟国との間の戦争など、長く続いた内戦と国際戦争があったことです。最近の戦争は 20 年近く続き、2021 年 8 月には NATO が支援する政府がタリバンに崩壊されました。

この政権交代は、経済的困窮、人道的危機、医療を含むサービスの途絶、女性の政治からの孤立、女子の中学・高校・大学への進学禁止と関連していることが、マスメディアを通じて広く伝えられています。しかし、マスメディアは政権交代に伴う前向きな進展（例えばポリオ根絶のような世界的な健康問題への影響）を無視することが少なくありません。

この国からポリオをなくす機会が訪れている理由

過去 40 年以上にわたって戦争を経験してきたアフガニスタンの人びとは、これほどの平穏な日常を経験したことがありません。紛争地帯はもはや存在せず、その意味での治安は改善されたと言えます。政変前にポリオ予防接種が行き届かなかった 5 歳未満の子どもは数百万人いましたが、現在は治安が理由で予防接種できない子どもの数はゼロとなっています。これは、この国におけるポリオ根絶活動のターニングポイントと言えます。また、現政権はポリオ根絶については前向きな姿勢を示しています。

記事の続きは[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ \(PHS\)](#)

[PHS パンフレット](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

[PHS オンライン入会手続き \(ppt\)](#)

[資金モデルの変更について \(2021 年 7 月より有効\)](#)

国際財団活動資金 (WF) に関する
プレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[ロータリー賞](#)

<DDF の寄贈>

ポリオプラス基金に DDF (地区財団活動資金) を寄贈されますと国際財団活動資金 (WF) から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から 2 倍の上乗せがあります。

例: $DDF2 + WF1 + \text{ゲイツ } 6 = 9$

※WF からの組み合わせ上限額は 500 万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限 5,000 万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ 1,500 ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDF の 20% 以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。

【登山にチャレンジしてポリオ根絶をサポート】

寄稿者： アメリ・ペルフェッティさん(フランス、サンディジエ・ロータリークラブ)

ポリオサバイバーの友人のためにローターアクターが立ち上がる

数年前、フランス、パリの二人のローターアクター会員、ミニさんとラシッドさんは登山を通じてポリオ根絶への募金をするプロジェクトを立ち上げました。きっかけは、二人の友人で、ポリオサバイバーであるイブラヒムさんがよく言っていた次の言葉でした。「自分にとって学校に通うことは、毎日登山するような(大変な)ものなんだ」

イブラヒムさんのため、また登山のような苦勞をして通学する子どもがいなくなるようにという願いで生まれたこの「Climbing like Ibrahim」プロジェクトでは、二人が最初に挑んだアルプスの最高峰モンブランを皮切りに、キリマンジャロ、ペルーのインカトレイル、コルシカ縦断、オートザルプ地方のケイラスの山々に登りました。 続きは[こちら](#)

【MILES TO END POLIO(ポリオ根絶自転車レース)】

国際ロータリー事務総長ジョン・ヒューコが11月18日自転車イベント「El Tour de Tucson」に参加するかたちで行われる[ポリオ根絶自転車レース\(Ride to End Polio\)](#)に参加し、自転車に対する情熱をポリオ根絶にぶつけます。アリゾナやエバンストンなどのロータリー会員や、自転車愛好家のロータリー親睦活動グループのメンバーも参加し、共にポリオ根絶のための募金活動を行います。約9,000人が参加するこのイベントは、米国でも有数の自転車レースです。2009年に初めて参加して以来、国際ロータリーは、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの寛大な支援を得ながら、6,000万ドル以上の寄付を集めてきました。

今年もポリオ根絶のために200万ドルを集めることを目標としています。この目標を達成するために、皆さまの地区のDDF(地区財団活動資金)をポリオ根絶自転車レースに寄贈することをご検討いただけますようお願い申し上げます。ご協力いただける場合は、2023年12月15日までに[こちらのオンラインフォーム](#)をご利用ください。

また、ポリオ根絶自転車レースに[個人的なご寄付](#)をお寄せいただくこともできます(財団認証ポイントの対象となります)。ポリオ根絶自転車レースに寄せられたご寄付は、ビル&メリンダ・ゲイツ財団からの上乗せにより3倍となります。



【世界各地のポリオ根絶活動】

伝統と革新が織りなす各地の活動をご紹介

世界レベルでポリオ根絶活動が進展する中、世界各地のロータリー会員は、伝統的な方法やユニークな方法を駆使しながら、認識向上、ファンドレイジング、アドボカシーを行っています。ヨーロッパ、アフリカ、アジア、南北アメリカなど世界各地でロータリー会員は、ポリオのない世界を実現するために全力を尽くしています。さまざまな活動の様子を[こちらから](#)ご覧ください！

【ポリオ根絶のための飛行】

ロータリー会員がセスナ機で世界を一周し、ポリオ根絶を支援

米国のジョン・オッケンフェルスさん(アイオワシティ AM、ロータリークラブ会員)とピーター・ティーエンさん(シーダーラピッズ・ウェスト・ロータリークラブ会員)は、エンジン1基のセスナ機を操縦して3カ月間で地球を一周し、ポリオ根絶のための募金と認識向上を行いました。しかし、その実現までには実に3年の月日がかかりました。

このチャリティ飛行のアイデアが生まれたのは、2018年。パイロット歴50年以上のティーエンさんは、自身の小型飛行機で世界一周できるかとふと考え、妻ジャネットさんにその話をしてみました。そのうちに夫の関心も薄れるだろうと考えたジャネットさんは、とりあえず実現が可能かどうか検討してみることを勧めました。記事の続きは[こちら](#)

【ポリオ根絶のためにペンを執る】

犯罪小説の短編集を出版してポリオ根絶への資金を集める

ロレイン・スティーブンスさんには、動機も手段もありました。必要なのは、「ポリオ根絶の活動資金を募るためにオリジナルの犯罪小説の短編集を出版する」ための共犯者だけでした。

短編集というアイデアは、昨年、英国ヨークシャーで開かれた文学フェスティバルで思いつきました(この短編集は2023年7月に『An Unnecessary Assassin』という題で出版)。最近に英国でポリオウイルスが検知されたことに憂慮したスティーブンスさんが、それについて友人と話しているときでした。記事の続きは[こちら](#)

【ポリオ根絶活動:警戒することの価値】

粘り強いサーベイランスがポリオ根絶に向けた前進の鍵

アフリカの一部の国は、ポリオ発生のリスクが高いと考えられています。しかし、マラウイでは何年もの間、ポリオの症例が1件もありませんでした。

この国には公衆衛生の充実したインフラがあり、予防接種率も良好です。ポリオによるまひを発症した最後の子どもが確認されたのは1992年のことで、それはアフリカ全体でのポリオフリーが認定される数十年も前のことでした。[世界保健機関\(WHO\)](#)のアフリカ地域ポリオ根絶プログラムのコーディネーターを務めるジャマール・アーメドさんは、「マラウイには、ポリオを知らずに生まれ育った子どもが大勢いる」と話します。それだけに、2022年2月にマラウイの子どもが野生型ポリオの陽性反応を示したときは驚いたとアーメドさんは振り返ります。記事の続きは[こちら](#)

【～ 10月24日は「世界ポリオデー」～ ポリオのない世界を、ペットボトルキャップのリサイクルで目指す「RECYCLE TO END POLIO」からポリオワクチンを提供へ】

「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」(以下、JCV)の主催で「ポリオ根絶」を目指す参加型プロジェクト「RECYCLE TO END POLIO」の報告会が開催され、本プロジェクトのアンバサダーであるEXILEのTETSUYAさんとともに、プロジェクトの成果と協力への感謝が伝えられました。

成果として239,350個のペットボトルキャップが集まり、これは5,239人分のポリオワクチンを世界中の子どもたちへ提供することを可能とします。

JCVでは、1994年から開発途上国にワクチンを贈る活動を展開しており、その一環として、ペットボトルのキャップを回収してリサイクルし、その売却益の一部を世界の子どもにワクチンのために寄付する取り組みがあります。

「RECYCLE TO END POLIO」はペットボトルキャップを捨てるという日常的な行為を、回収してリサイクルするというアクションに変えることによって、世界の子どもたちへのポリオワクチン提供に貢献できるプロジェクトです。

詳細は、[こちらのプレスリリース](#)をご覧ください。



【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2023年 1月1日～ 10月24日	2022	2021	2020
常在国	パキスタン	4	20	1	84
	アフガニスタン	6	2	4	56
非常常在国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		10	30	6	140

補助金

【世界初！ローターアクトクラブ提唱によるグローバル補助金が承認】

寄稿者:宮里唯子さん(茨木西ロータークラブ会員、第2660地区直前ガバナー、RI&TRF 合同 DEI 諮問委員会委員)

大阪東ローターアクトクラブが提唱するモンゴルでのグローバル補助金プロジェクト

この度、第2660地区(大阪北部)の大阪東ローターアクトクラブが2022年11月に申請したグローバル補助金(GG)が2023年8月に承認され、ローターアクトクラブによるGGとしては世界初の承認となりました。これは、ローターアクトクラブはもとより当地区にとって快挙であり、大きな喜びでした。

このプロジェクトは、「基本的教育と識字率向上」分野の活動で、モンゴルの首都ウランバートルにある公立校2校に図書室の整備と図書寄贈を通して約3,000名の子供たちへの教育支援を行うことが目的です。近年、雪害などの影響で従来の放牧で生計が立てられなくなりウランバートルに流入した人びとが、激増する首都の人口約半数を占め、ゲル地区で生活しています。ゲル地区にある学校では、人口増に追いつかず、ほとんどの学校が2部制をとっており、教材も不足しています。当然ながら、学力も都市圏の平均値を大きく下回るという調査結果が出ています。

多大な努力を経てようやく承認へ

このGGを申請した当初、地域調査(統計や数値的根拠)が不十分だったことや、当該分野の成果の継続性や測定の理解不足により、財団からの通知は「非承認」でした。これには、ローターアクトクラブにアドバイスをしてきた私自身も驚きました。まったく同じ活動と言ってよい地区内ロータークラブ提唱のGGが過去に2件承認されており、今回の申請書にたとえ不足があってもまずは財団から追加情報を求められ、これを補足することで承認が得られるとふんでいたのです。記事の続きは[こちら](#)

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)[グローバル補助金ガイド](#)[地域社会調査の結果フォーム](#)[地域調査の方法](#)[協力団体の覚書\(MOU\)](#)[ローターアクトクラブによるロータリー](#)[補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)[重点分野ガイド](#)[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)
- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[ロータリーショーケース](#)[プロジェクトフェア](#)[補助金担当職員一覧](#)[重点分野の担当職員](#)[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)[補助金センターのご利用ガイド](#)[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)[ロータリー平和フェロシップ](#)[ロータリーの学友](#)[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)[地区の覚書\(MOU\)](#)[地区の参加資格認定 FAQ](#)[地区資金管理計画ガイド](#)[クラブの覚書\(MOU\)](#)

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2023年9月22日～10月23日 確認分(敬称略、寄付日順)

地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2750	東京銀座	福原 有一	2600	松本	折井 正明
2500	富良野	松田 英郎	2680	宝塚武庫川	大室 儁
2680	芦屋	宮本 一	2680	神戸	松岡 通夫
2660	千里	井上 暎夫	2710	呉南	山本 清
計 8 名					

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。



新たにアーチ・クランフ・ソサエティ会員となりました。

- 松田 英郎様・尚美様(63組目)
- 松岡 通夫様・明子様(64組目)

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)
[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)
[「END POLIO NOW」のロゴ](#)
[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)
 のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)
[クラブで SNS を活用するヒント](#)

[今後の予定](#)

11月19日 ～22日	第52回ロータリー研究会ならびに付随プログラム
11月 ～12月	ロータリー財団功労表彰状 推薦期間
1月～2月	ロータリー財団特別功労賞 推薦期間
2月23日	ロータリー創立記念日
5月25日 ～29日	ロータリー国際大会 (シンガポール)

国際ロータリー日本事務局財団室
 〒108-0073
 東京都港区三田 1-4-28
 三田国際ビル 24 階
 Email: RIJPNTRF@rotary.org
 Tel: 03-5439-5805
 Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。

ロータリー財団 2023-24年度 9月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,185	50.02	109,285.66	17,942.38	40,312.57		167,540.61	521%
2510	2,355	24.52	57,735.43	10,881.14	70.92	1,378.47	70,065.96	89%
2520	2,006	14.85	29,793.84	12,469.75	25,041.10	549.37	67,854.06	135%
2530	2,162	8.94	19,337.90	4,874.84	174.13		24,386.87	41%
2540	1,101	6.20	6,821.52	250.00			7,071.52	79%
2550	1,591	18.28	29,085.12	3,863.10	10,000.00	4,200.00	47,148.22	146%
2560	1,986	26.13	51,890.99	12,767.59		68.49	64,727.07	75%
2570	1,537	32.44	49,857.89	18,828.93	19,167.09		87,853.91	82%
2580	2,878	51.82	149,129.79	40,515.56	34,471.79	12,745.27	236,862.41	112%
2590	1,830	52.45	95,976.66	17,256.56	9,000.00	68.49	122,301.71	94%
2600	1,792	22.18	39,737.94	19,760.04	1,307.51		60,805.49	85%
2610	2,438	18.99	46,296.17	8,512.19	1,000.00	206.90	56,015.26	78%
2620	2,821	26.45	74,622.44	17,847.22	11,878.57	102.74	104,450.97	99%
2630	3,004	23.80	71,500.89	14,877.14	5,070.92	661.99	92,110.94	77%
2640	1,548	19.30	29,879.18	5,764.99	1,466.17	137.46	37,247.80	78%
2650	4,160	43.96	182,860.61	30,105.38	8,000.00	5,946.69	226,912.68	98%
2660	3,385	57.50	194,651.11	93,518.53	70,214.95	3,810.20	362,194.79	118%
2670	2,822	27.27	76,965.52	28,559.35	2,000.00		107,524.87	86%
2680	2,499	27.78	69,428.80	10,254.68	30,070.92	467.45	110,221.85	101%
2690	2,861	33.13	94,787.76	22,542.06	46,626.00	1,269.76	165,225.58	105%
2700	3,028	22.35	67,686.04	9,440.94		268.00	77,394.98	86%
2710	3,104	46.81	145,304.66	28,361.30	76,491.00	70.92	250,227.88	120%
2720	2,298	33.31	76,550.40	14,844.40	11,096.12	1,722.42	104,213.34	91%
2730	2,297	10.09	23,187.52	1,326.53	1,000.00		25,514.05	79%
2740	2,058	15.62	32,147.31	5,381.83	1,100.00	68.49	38,697.63	161%
2750	4,479	47.55	212,972.24	37,670.10	100,779.59	9,992.06	361,413.99	116%
2760	4,516	52.01	234,894.29	57,588.22	12,604.67		305,087.18	101%
2770	2,251	78.51	176,723.10	29,889.76	25,000.00	6,363.00	237,975.86	92%
2780	2,346	18.55	43,517.98	38,332.22	7,241.84	1,569.76	90,661.80	95%
2790	2,624	39.54	103,760.72	24,552.00	18,500.00	2,000.00	148,812.72	103%
2800	1,463	26.41	38,641.44	4,395.09		206.90	43,243.43	65%
2820	1,852	31.91	59,096.86	9,524.69	7,075.00	1,500.00	77,196.55	108%
2830	1,082	12.62	13,651.60	3,077.49			16,729.09	63%
2840	2,003	22.00	44,056.67	8,725.19		68.97	52,850.83	71%
日本	82,362	33.41	2,751,836.05	664,501.19	576,760.86	55,443.80	4,048,541.90	102%
世界	1,153,717	20.85	24,050,890.06	5,309,801.03	13,194,147.46	5,288,629.03	47,843,467.58	
日本の 割合	7.14%	-	11.44%	12.51%	4.37%	1.05%	8.46%	

※2023年7月から、ウクライナ救援基金・パキスタン洪水救援基金・モロッコ地震救援基金を含め、すべてのロータリー災害救援基金への寄付は、「その他の基金」に含まれます。